

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 s k y 第2甘木教室

公表日 令和7年4月25日

利用児童数 20名

回収数 18名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	1		・子どもたちも分かりやすい スペースになっている。	十分なスペースである事を全員に ご説明出来ていなかった。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1		職員の数などのお知らせ不足していた と思われる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	16	2			・いつも考えてもらって感謝している。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	17	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	18					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	17			1		活動内容を全保護者にご理解いた だける工夫をしていきたい。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	12	1	1	4		Sky 1号店、2号店合同でのイベント 年に数回行っているが、他事業所との 交流はできていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	17	1			・何でもきちんと説明がある。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	14	1	1	2		今後、さらにご家族さまに支援が出来る よう、工夫していきたい。(発達・運 動・学習・言語・食事など)
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	17	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17			1	・いつも日常的に知らせてくれる。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1		5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	1	1	・ホームページをもう少し充実させてほしい。	事業所名変更の後、ホームページが新しくなった。その事のお知らせが不足していた。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		1			マニュアルがある事のお知らせが不足しないよう注意していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17		1			今後も安全を最優先に考えた療育を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17		1			常に児童が安心して過ごしているかを見ながら、一人ひとりに合った環境を整えたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2		1	・いつも楽しみにしている。	全ての利用児が楽しみにしてくれるよう今後も、全スタッフで工夫する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			・柔軟に対応してくれて、助かっている。	

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 s k y第2目木教室

公表日 2025年 4月 25日

利用児童数 6名

回収数 6

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5		1			十分なスペースを準備している事を全ての保護者にご説明出来ていなかった。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			2		職員の数などのお知らせが不足していたと思われる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていませんか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				子どもの気持ちを尊重して頂き、寄り添った支援を受けている。	ありがとうございます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		1	1		保育所等との交流が出来ないため公共の施設（図書館・公園・児童館）など地域での活動を取り入れている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		1	1	困りごとと一緒に考えて頂き、大変助かっている。	今後、さらにご家族さまに支援が出来るよう、工夫していきたい。(発達・運動・学習・言語・食事など)
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5		1		お迎え時に教室での様子を教えて頂き、共有する事が出来ている。	これからも、保護者支援を続けていきたい。また、それぞれの保護者のニーズに合わせて方法を工夫していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		1		連絡帳を通しての助言がある。	これからも、保護者支援を続けていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				定期的に声を掛けてもらっている。	ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	1	毎年夏祭りで保護者会を行っている。	保護者参加型のイベントのお知らせが不足していたと思われる。今後は、保護者さまの、参加出来る日時などを考慮していきたい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1		子どもたちの活動を知る事が出来る。 通所を楽しみにしている。	ホームページ・SNSで、活動の様子など情報発信していることを、保護者さまに周知出来ていないと感じた。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1	職員研修は月1回しっかりされている。 マニュアルがあるのか分からない。	マニュアルがある事のお知らせが不足しないよう注意していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			子どもたちにも周知して頂きたい。 (年2回避難訓練実施)	避難訓練の他、消防署や防災センターでの訓練を実施している。多くの児童が参加出来るよう工夫する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1		楽しく通っている。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1		・通所、訪問支援と大変ありがたい。 ・子どものペースに合わせて頂き、本人も楽しく通う事が出来る。	ありがとうございます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

s k y 第2甘木教室

公表日

令和7年 4 月 25 日

訪問先

2か所

施設数

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			・放デイで取り組まれている色紙貼りやシール貼りの教材を見せて頂き、とても参考になった。幼稚園でも取り入れる。	・ご要望があれば、今後も、教具・教材を提案させていただきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1			・今後も課題や困りごとを共に考えていきたいと思えます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後半に日程の見通しを相談させていただき、とても設定しやすくなった。利用児童が4人おり、日にちを決めるところを苦労していた為、来年度も「第〇週の〇曜日」というように目安があると助かる。</li> <li>・訪問前に「その子のどんな姿を見たいか」伝えてもらえると強化が設定しやすい。交流学級の担任も合わせると、7人それぞれ連絡相談をしている。明確な物があると相談しやすくなる。</li> <li>・s k y の職員と利用児童のやりとりを垣間見ることが出来、学びになる。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教育機関さまの、ご都合に合わせて、日程調整をさせていただきます。訪問先が増えてきましたので、年間スケジュールを立て、その後、再調整するように、改善させていただきます。</li> <li>・児童の情報共有や、課題などを口頭だけでなく、事前に書面にする事で、どのような点を観察したいかなど、知らせるようにしたいと思います。</li> <li>・家庭・教育機関・放課後等デイサービス・児童発達支援など、異なる場所での姿を共有することで、児童や保護者の安心につながると思うので、今後も訪問支援の役割を大切にしていきたいと考えています。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Sky第2 甘木教室		公表日		令和7 年 4 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		・ こどもの発達に合わせ、教具を工夫している。希望があれば教材を、利用している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		・ 適切である。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・ 会議にて、子どもの育ちを出し合い、また学校の様子を共有して、進めている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・ 出来ている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・ 出来ている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	・ 現在第三者による外部評価は行っていない。今後検討する。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・ 毎月1回以上の会議や研修を行っている。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・ 出来ている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・ 出来ている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・ 出来ている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・ 出来ている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・ 出来ている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		・ 出来ている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・ 十分に話し合い、毎回どのような点を観察するか、支援するかを準備している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		・ 出来ている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・ 出来ている。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・ 十分に配慮している。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		・ 記録をとり、報告書を作成している。			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・教育機関の方々のご負担にならないよう情報共有している。その際、見直しが必要な場合は速やかに行う。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		・必要な会議を準備し、関係機関の方々に参加して頂いている。参加する場合は、理解している者が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・出来ている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・出来ている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		・出来ている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		・出来ている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・出来ている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・出来ていない。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・出来ている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・行っているが、ご理解いただけない訪問先もあり今後の課題である。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・出来ている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・出来ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・出来ている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	・保護者会などは、出来ていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・出来ている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		・出来ているが、もっと増やしていかねばならない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・出来ている。	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		・出来ている。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・出来ている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		・出来ている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・出来ている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・出来ている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・出来ている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		・出来ている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		・出来ている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・出来ている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・出来ている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		・出来ている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		s k y 第2甘木教室		公表日		令和7年4月25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用人数に必要なスペースよりも広い空間を準備している。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9		十分な人数である		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9		現在の利用児童に合わせた環境になっている。 車椅子等の児童が来た場合は改修が必要。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9		衛生面、安全に配慮し、指導室を準備している。また児童が落ち着いて過ごせる環境作りを心掛けている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9		児童の状況に応じて、休息がとれたり、落ち着いて過ごせるように空間を準備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		定期的に会議を行い、また朝礼などで児童の姿や療育内容を検討している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価表に限らず、保護者様の意向等あれば、職員全員周知し、改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に会議を行い、朝礼などで職員の意見を出し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	現在第三者委員会は設置していない。 今後検討する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		確保されている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		確保されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		観察・分析・本児と保護者のニーズ・相談支援事業所のご意見など総合的に考え計画を立てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		個別支援計画会議を行い、それぞれの視点での意見を出し合う。実践出来る、具体的な計画を立てるよう努力している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画に沿った、支援を実践している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		出来ている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		チームで行っている。 安全や発達に合った療育であるか、会議を行い検討している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		連続性のある療育を大事にしている。児童がワクワクし、新しい体験が出来るよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個と集団の大切さを考え、計画、実践を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日、必ず朝礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後には各ご家庭に送迎している。送迎後は速やかに退勤しているため、朝礼にて振り返りや気付きを出し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の記録をとる事で、分析が深まる。また、記録を見る事で、正しい情報共有が出来るので、大事にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		出来ている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		出来ている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	9		出来ている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		出来ている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		出来ている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		出来ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		出来ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		出来ている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		個別に必要な研修を受けている。	児童発達支援センターとの連携について、今後検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		交流はまだないが、地域活動は定期的に行っている。 (児童館・図書館・公園・公共の施設など)	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9		送迎の際や連絡帳にてお話ししている。 また、必要に応じて家庭訪問や面談を行っている。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		ご家族への、支援を大切にしている。	全員に出来ているわけではないので、もっと、工夫が必要である。ご家庭の状況に応じて参加出来るよう企画していく。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		まだ不十分である。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		こどもと保護者様のニーズを最優先にしている。また、家庭以外の場所での姿を共有し、必要な計画を立てている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		出来ている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		出来ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		出来ている。	保護者さまと話をすることで、必要な療育のヒントを得ている。今後も、保護者さまの話を聞かせていただきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9		年1回の夏祭りとして、保護者、きょうだい同士が交流する機会を設けている。その他、イベントに保護者さま参加の声掛けをし、交流の場を準備している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		出来ている。	相談の対応は早い程解決しやすいので、今後も速やかに対応していきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		出来ている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		出来ている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		出来ている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		私達が地域に出掛けることはあったが招待は出来なかった。年賀状を出す事もあった。	今後も地域の方への、交流を大事にしていきたい。まち探検に行くことを児童が楽しみにしている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		出来ている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		出来ている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		定期的に必要な利用者の保護者様には確認を取っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		出来ている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		出来ている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		出来ている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		毎月ヒヤリハットを確認して、対策等について話し合いをしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		出来ている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		出来ている。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		s k y 第2甘木教室		公表日		令和7年 4月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用人数に必要なスペースよりも広い空間を準備している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		十分な人数である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		現在の利用者に合わせて環境になっている。車イス等の児童が来た場合は改修が必要。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		衛生面、安全に配慮し、指導室を準備している。また児童が落ち着いて過ごせる環境作りを心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		児童の状況に応じて、休息がとれたり、落ち着いて過ごせるように空間を準備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		定期的に会議を行い、また朝礼などで児童の姿や療育内容を検討している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価表に限らず、保護者様の意向等あれば、職員全員周知し、改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に会議を行い、朝礼などで職員の意見を出し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	現在第三者委員会は設置していない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		確保されている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		観察・分析・本児と保護者のニーズ・相談支援事業所のご意見など総合的に考え計画を立てている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		個別支援計画会議を行い、それぞれの視点での意見を出し合う。実践出来る、具体的な計画を立てよう努力している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画に沿った、支援を実践している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		出来ている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		チームで行っている。安全や発達に合った療育であるか、会議を行い検討している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	連続性のある療育を大事にしている。児童がワクワクし、新しい体験が出来るよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	個と集団の大切さを考え、計画、実践を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	毎日、必ず朝礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	支援終了後には各ご家庭に送迎している。送迎後は速やかに退勤しているため、朝礼にて振り返りや気付きを出し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	日々の記録をとる事で、分析が深まる。また、記録を見る事で、正しい情報共有が出来るので、大事にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	6か月間内でも、変更すべき内容があれば速やかに、計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	出来ている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	出来ている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	出来ている。	情報共有をして頂ける教育機関があり、児童のため保護者様のために、考える事が出来ている。大変感謝している。今後も、家庭、教育機関、医療、事業所などでサポートしていけたらと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	出来ている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	・個人で必要な研修を受けているが、児童発達支援センターとは連携出来ていない。	・今後検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	保育所等の交流はまだないが、地域活動は定期的に行っている。 (児童館・図書館・公園・公共の施設など)	・今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	送迎の際や連絡帳にてお話ししている。また、必要に応じて家庭訪問や面談を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	ご家族への、支援を大切にしている。	全員に出来ているわけではないので、もっと、工夫が必要である。ご家庭の状況に応じて参加出来るよう企画していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	まだ不十分である。	今後、十分な説明を行うようにしていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	こどもと保護者様のニーズを最優先にしている。また、家庭以外の場所での姿を共有し、必要な計画を立てている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		出来ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		出来ている。	保護者さまと話をすることで、必要な療育のヒントを得ている。今後も、保護者さまの話を聞かせていただきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		年1回の夏祭りとして、保護者、きょうだい同士が交流する機会を設けている。その他、イベントに保護者さま参加の声掛けをし、交流の場を準備している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		出来ている。	相談の対応は早い程解決しやすいので、今後も速やかに対応していきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		出来ている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		出来ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		出来ている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		私達が地域に出掛けることはあったが招待は出来なかった。年賀状を出す事もあった。	今後も地域の方への、交流を大事にしていきたい。まち探検に行くことを児童が楽しみにしている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		出来ている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		出来ている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		出来ている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		出来ている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		出来ている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		出来ている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		毎月ヒヤリハットを確認して、対策等について話し合いをしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		出来ている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		出来ている。		

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 s k y第2目木教室

公表日 2025 年 4 月 25 日

利用児童数 6名

回収数 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1		2	・放デイで取り組まれている色紙貼りやシール貼りの教材を見せて頂き、とても参考になった。幼稚園でも取り入れる。	・必要な児童には教材の提案などをさせて頂いている
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6				・保護者、学校側ときちんと連携を取っている。	
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6					
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				・時間をとってしっかりと説明して頂いている。	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1		2		・現在、研修会などは準備中である。 (2025年度 開催予定)
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5			1	・話し合いの時間を十分とれている教育機関さまに大変感謝している。今後も、会議や電話などで、行う。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5			1	・説明と報告をきちんとしてくださっている。 ・訪問後に面談を行い、説明や報告をさせて頂いている。今後も続けていきたい。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			1	・もっと、情報発信を行ってきたい。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6				
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5			1	
	28	事業所の支援に満足していますか。	6				・助かっている。